

福島再生加速化交付金(福島定住等緊急支援)
/福島定住等緊急支援交付金

定住緊急支援事業計画の実績に関する評価

平成27年12月
福島県 矢吹町

(様式1)

定住緊急支援事業計画に基づく事業等の評価一覧

平成27年12月時点

1) 事業の実施概要 (単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	基幹/ 効果促進	事業 実施 主体	全体事業費 (注3)	全体事業 期間 (注4)	年度事業費(注5)			評価 実施時期(注6)	その他
								平成25年度	平成26年度	平成27年度		
1	A - 1 - 1	子ども元気復活交付金 公園遊具更新事業	矢吹町内一円	基幹	町	(30,959) 30,959	25～25	(30,959) 30,959			平成27年12月	
2	A - 1 - 2	子ども元気復活交付金 学校施設遊具更新事業	矢吹町内4小学校	基幹	町	(27,615) 27,615	25～25	(27,615) 27,615			平成27年12月	
3	B - 1 - 1	子ども屋内運動場整備事業	矢吹町小松地内	基幹	町	(506,652) 506,652	25～26		(506,652) 506,652		平成27年12月	
4	B - 1 - 2	子ども屋外運動場整備事業	矢吹町小松地内	基幹	町	(54,103) 54,103	25～26		(54,103) 54,103		平成27年12月	
5	B - 1 - 1	子ども屋内運動場駐車場整備事業	矢吹町小松地内	効果促進	町	(2,818) 2,818	25～26		(2,818) 2,818		平成27年12月	
6	B - 2 - 1	学校施設照明設備整備事業	矢吹町内一円	基幹	町	(64,655) 64,655	25～26		(64,655) 64,655		平成27年12月	
7	A - 1 - 3	幼稚園・保育園遊具更新事業	矢吹町内一円	基幹	町	(28,448) 28,448	26～26		(28,488) 28,488		平成27年12月	

2) 事業計画に記載した地域の復興における支障の解決に係る目標(注7)

目標	指標	従前値		目標値		実施後の値		達成度	モニタリング方法	効果発現要因 (総合所見)	今後の対応	備考(注8)
		基準年度	H25	目標年度	H27	確認年度	H27					
目標1	小学生の運動能力の向上 (新体力テスト全学年平均点合計) 単位:点	1,043	H25	1,084	H27	1,043	H27		各校にて実施している「新体力テスト」の結果調査	H25年以降連続減少していた数値が、H26と27比では改善しており事業効果の発現を確認している。しかし、目標数値に対しては当初想定よりも効果の発現までの期間を要していることが考えられ、目標未達成の状況となっている。	目標達成可能となるよう、町HP等による施設利用の周知や、教育機関との連携による積極的な運動機会の促進をして引き続き支援を行い、目標達成に向け今後もフォローアップを行う。	A-1-1、A-1-2、B-1-1、B-1-1、B-1-2、B-2-1、A-1-3
目標2	小学生の肥満傾向児童の割合	12.8%	H26	12.5%	H27	10.1%	H27	90%	福島県学校保健会研究会結果調査	運動機会の増加により、肥満度の改善を確認。	改善状況の維持となるよう、町HP等による施設利用の周知や、イベント開催の周知をして、引き続き支援を行う。	A-1-1、A-1-2、B-1-1、B-1-1、B-1-2、B-2-1、A-1-3
目標3	中学生の運動能力の向上 (新体力テスト全学年平均点合計) 単位:点	132	H26	133	H27	129	H27		各校にて実施している「新体力テスト」の結果調査	中学1年生については数値が向上しており効果が見られている。しかし、全体では目標数値に対しては当初想定よりも効果の発現までの期間を要していることが考えられ、目標未達成の状況となっている。	目標達成可能となるよう、町HP等による施設利用の周知や、教育機関との連携による積極的な運動機会の促進をして引き続き支援を行い、目標達成に向け今後もフォローアップを行う。	A-1-1、A-1-2、B-1-1、B-1-1、B-1-2、B-2-1、A-1-3
目標4	中学生の肥満傾向児童の割合	11.6%	H26	11.5%	H27	13.7%	H27		福島県学校保健会研究会結果調査	小学生の数値が向上しており、年齢の小さい子どもたちへの効果が顕著であるが、中学生については目標未達成の状況となっている。小学校から等の低学年からの運動の継続により効果が発現していくと考えられる。	目標達成可能となるよう、町HP等による施設利用の周知や、教育機関との連携による積極的な運動機会の促進をして引き続き支援を行い、目標達成に向け今後もフォローアップを行う。	A-1-1、A-1-2、B-1-1、B-1-1、B-1-2、B-2-1、A-1-3
目標5	幼稚園保育園運動能力の向上 (幼保卒園後の小学1年生の運動能力) (新体力テスト平均点合計) 単位:点	89	H26	96	H27	93	H27	57%	各校にて実施している「新体力テスト」の結果調査	H26と27比では改善しており事業効果の発現を確認している。しかし、目標数値に対しては当初想定よりも効果の発現までの期間を要していることが考えられ、目標未達成の状況となっている。	目標達成可能となるよう、町HP等による施設利用の周知や、教育機関との連携による積極的な運動機会の促進をして引き続き支援を行い、目標達成に向け今後もフォローアップを行う。	A-1-1、A-1-2、B-1-1、B-1-1、B-1-2、B-2-1、A-1-3

3) その他目標(2)に掲げたもの以外の目標(注7)

	指標	従前値		目標値		実施後の値		達成度	モニタリング方法	効果発現要因 (総合所見)	今後の対応	備考(注8)
		基準年度		目標年度		確認年度						
目標1	屋内外運動場来場者数 (1日あたり来場者数)単位:人		H25	50	H27	191	H27	382%	利用者受付時の集計	商社の運営委託により、利用者ニーズに適合する施設運営の実施及びイベントの開催による集客効果により目標値達成を確保。	利用者数の維持となるよう、町HP等による施設利用の周知や、イベント開催の周知をして引き続き支援を行う	B-1-1、B-1-2、B-1-1
目標2												
目標3												
目標4												
目標5												

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業については、「(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は定住緊急支援事業計画に記載された事業名を記載する。

(注3)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費と交付対象事業費をそれぞれ記載する(交付対象事業費は()で記載)。

(注4)「全体事業期間」は、事業着手年度から全ての事業内容が完了する年度までを記載する。

(注5)「年度事業費」は、事業着手から事業完了年度までの各年度の交付対象事業費と全ての事業費をそれぞれ記載する(交付対象事業費は()で記載)。

(注6)「評価実施時期」は、定住緊急支援事業計画に基づく事業等が完了した日の属する年度の翌年度の12月末日までの実施した時期を記載する。

(注7)2)には定住緊急支援計画に記載した内容を、3)には定住緊急支援計画上全く記載をしていないものの、今回の整備により期待される効果があれば記載する。

なお、A-1、B-1、2、C-1事業については、子どもたちが十分に運動する機会の確保の観点、C-2、C-3については子育て世帯の定住に資する観点から、維持管理や運営の視点、ソフト事業との相乗効果などの面も含め目標を記載する。

(注8)「備考」の欄には、当該目標の評価対象となる事業番号を記載する。

(様式2)

個別事業等実績評価シート

平成27年12月時点

県名	福島県	交付期間	平成25年度	交付対象事業費	58,574千円
市町村名	矢吹町	実績評価実施時期	平成27年度	評価対象事業	A-1-1、A-1-2

1) 事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

- 公園遊具の更新を実施することにより、休日を中心に子育て世代が安心して親子で遊ぶ機会の増加を図る。
- 小学校施設における遊具の更新を実施することにより、放課後・休日における外遊び運動機会の増加を図り、児童の体力を向上させる。



【事業詳細】

(1) 事業概要

- 町内の都市公園3カ所(大池公園8基、新町公園5基、ひまわり公園3基)及び4小学校の校庭に設置されている遊具の更新をして子ども達が屋外で運動しやすい環境を整備し、運動不足であった体力を向上させ、運動習慣の定着を図る。
- 大池公園8基、新町公園5基、ひまわり公園3基
- 矢吹小学校13基、善郷小学校14基、中畑小学校12基、三神小学校11基

(2) 事業の実施状況

- H25年12月より工事着工、H26年3月工事完了済み
- 大池公園他3都市公園については終日一般開放しており、矢吹小学校他4小学校については就業時間外一般開放している。町内各地域(矢吹、中畑、三神)の近隣の住民の利用とともに、遠方からの車を利用しての利用者も多数あり、多くの方の利用がある。

(3) 人口流出及びそれにより生じている地域の復興における支障との関係の評価年度時点での情報

- 避難者数: H27年12月現在115人(H24年10月比 26人)
- 町内人口: H27年10月現在17,766人(H25年4月17,981比 215人)
- 児童生徒数: H27年5月現在1,441人(H25年5月1,456比 15人)
- 小学生肥満度: H27年調査10.1%(H26年調査数値比 2.7%(H26年12.8%))
- 小学生ローレル指数: H25年調査7.8%(H23年調査比+0.9%(H23年6.9%))
- 小学生「新体力テスト」平均点合計: H27年1,043点(H25年1,043点比0点)
- 人口及び児童数、体力テストについては減少(低下)に歯止めがかからず目標達成にも至っていないものの、遊具の更新がなされたことにより、町内の各地域の屋外運動機会の確保がなされ、H27年度の人口推計やH26年度児童生徒数等にも改善の傾向がみられてきており、また肥満度については、小学生の直近の値で大きく改善し効果が表れてきている。

(4) その他

大池公園(H26年4月)

新町公園(H26年4月)

ひまわり公園(H26年4月)



事業計画推進による効果・変化(注2)

- 都市公園及び小学校遊具の利用により、子どもたちの肥満度が改善した(H27年度小学生肥満度2.7%減少)。
- 町HPにおいて公園遊具が「新しくなった」旨公表しており、放射能の影響を払拭して安全性をPRしている。また、遊具の講習会等についても今後検討している。

効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

- 町内人口及び児童数の減少が続いている現状の中、町HP等による施設利用の周知や、イベント開催の周知とともに教育機関との連携による積極的な運動機会の促進をして引き続き支援を行う。

(注1) 様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2) 様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

(様式2)

個別事業等実績評価シート

平成27年12月時点

県名	福島県	交付期間	平成25年度～26年度	交付対象事業費	563,573千円
市町村名	矢吹町	実績評価実施時期	平成27年度	評価対象事業	B-1-1、B-1-2、B-1-1

1) 事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

矢吹駅に隣接した中心市街地に、屋内・屋外運動場及び駐車場を整備することにより、子どもたちの運動機会の増加と運動能力の向上を図る。



【事業詳細】

(1) 事業概要

- 矢吹駅近隣の中心市街地内に、地域開放型の屋内・屋外運動場、クラブハウス、駐車場・駐輪場設備を整備する。
- 施設名称「未来くるやぶき」
- 屋内運動場 木造一部2階 延床面積825.89㎡
- 屋外運動場(フットサルコート) 人工芝 延床面積1295.40㎡

(2) 事業の実施状況

- H26年7月着工、H27年3月完成、H27年3月27日施設供用開始
- 利用促進イベント全18回開催(10月現在)
- 運営委託業者主催及び町主催によるイベントとして、プレイリーダーによる遊具を使った運動や、フットサルのプロによる運動のイベントを実施。

運営委託先 学校法人栄光学園

- 施設オープンからの累計来場者数23,922人(～8月)
- 利用促進として運営委託者及び町によるフットサル等の各種イベントを開催し多くの方が来場している。
- 施設の利用は90分入替制として、午前と午後にかけて運営している。また、場内にはプレイリーダーにより遊具の使用法のアドバイスや安全確保のうえ、効果的な運動を促進している。

(3) 人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係の評価年度時点での情報

- 避難者数: H27年12月現在115人(H24年10月比 26人)
- 町内人口: H27年10月現在17,766人(H25年4月17,981比 215人)
- 児童生徒数: H27年5月現在1,441人(H25年5月1,456比 15人)
- 小学生肥満度: H27年調査10.1%(H26年調査数値比 2.7%(H26年12.8%))
- 小学生ローレル指数: H25年調査7.8%(H23年調査比+0.9%(H23年6.9%))
- 小学生「新体力テスト」平均点合計: H27年1,043点(H25年1,043点比0点)
- 人口及び児童数、体力テストについては減少(低下)に歯止めがかからず目標達成にも至っていないものの、遊具の更新がなされたことにより、町内の各地域の屋外運動機会の確保がなされ、H27年度の人口推計やH26年度児童生徒数等にも改善の傾向がみられてきており、また肥満度については、小学生の直近の値で大きく改善し効果が表れてきている。

屋内運動場(H27年3月)



屋外運動場(H27年3月)



事業計画推進による効果・変化(注2)

屋内外運動場の利用及び利用促進イベントの開催等により運動機会が増加し(一日あたり平均来場者約190名)、子どもたちの肥満度が改善した(H27年度小学生肥満度2.7%減少)。

効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

町内人口及び児童数の減少が続いている現状の中、町HP等による施設利用の周知や、イベント開催の周知とともに教育機関との連携による積極的な運動機会の促進をして引き続き支援を行う。

(注1) 様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2) 様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

(様式2)

個別事業等実績評価シート

平成27年12月時点

県名	福島県	交付期間	平成25年度～26年度	交付対象事業費	64,655千円
市町村名	矢吹町	実績評価実施時期	平成27年度	評価対象事業	B-2-1

1) 事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

・中学校の校庭に屋外運動場照明施設を新設し、夜間及び休日の運動場所を整備して子どもたちの体力向上を図る。



【事業詳細】

(1) 事業概要

・矢吹中学校の校庭に屋外照明設備を整備する。
 ・8基、被照明面積18,000㎡、平均照度150lx、運動場総面積21,662㎡

(2) 実施状況

・H26年7月着工、H26年12月完成・供用開始。
 ・矢吹中学校就業時間外一般開放。
 ・中学校生徒等の部活動による運動時に使用
 ・駅伝チームの練習等に使用
 ・日照時間の少ない秋季から冬季にかけて屋外の部活動(野球やサッカー等)において使用。駅伝チームは秋季の期間中週2・3回程度の頻度にて利用。

(3) 人口流出及びそれにより生じている地域の復興における支障との関係の評価年度時点での情報

・避難者数：H27年12月現在115人(H24年10月比 26人)
 ・町内人口：H27年10月現在17,766人(H25年4月17,981比 215人)
 ・児童生徒数：H27年5月現在1,441人(H25年5月1,456比 15人)
 ・小学生肥満度：H27年調査10.1%(H26年調査数値比 2.7%(H26年12.8%))
 ・小学生ローレル指数：H25年調査7.8%(H23年調査比+0.9%(H23年6.9%))
 ・小学生「新体力テスト」平均点合計：H27年1,043点(H25年1,043点比0点)
 ・中学生「新体力テスト」平均点合計：H27年129点(H26年比 3点)
 ・中学生肥満度：H27年調査13.7%(H26年調査数値比 2.1%(H26年11.6%))
 ・人口及び児童数、体力テストについては減少(低下)に歯止めがかからず目標達成にも至っていないものの、遊具の更新がなされたことにより、町内の各地域の屋外運動機会の確保がなされ、H27年度の人口推計やH26年度児童生徒数等にも改善の傾向がみられてきており、また肥満度については、小学生の直近の値で大きく改善し効果が表れてきている。

(4) その他

矢吹中学校校庭(H27年11月)

矢吹中学校校庭(H27年12月)



事業計画推進による効果・変化(注2)

・屋外及び夜間の運動機会が新たにできたことで中学生の部活動や町内団体による利用がなされており、運動機会自体は増加はしているものの、体力テスト及び肥満度の推移については、震災前以前の目標数値に対して未達成の状況であり、効果の発現までの期間を要していると考えられる。

効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

・町内人口及び児童数の減少が続いている現状の中、町HP等による施設利用の周知や、イベント開催の周知とともに教育機関との連携による積極的な運動機会の促進をして引き続き支援を行う。

(注1) 様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2) 様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

(様式2)

個別事業等実績評価シート

平成27年12月時点

県名	福島県	交付期間	平成26年度	交付対象事業費	28,488千円
市町村名	矢吹町	実績評価実施時期	平成27年度	評価対象事業	A-1-3

1) 事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

・矢吹町内の幼稚園及び保育園における鉄棒やすべり台等の遊具の更新を実施することにより、幼稚園児や保育園児等の子どもたちの屋外運動機会の増加を図り、もって矢吹町の幼児の体力を向上させることを目標とする



【事業詳細】

(1) 事業概要

・矢吹町内の幼稚園及び保育園(6園)の園庭遊具を更新する。
 ・矢吹幼稚園10基、中央幼稚園12基、中畑幼稚園13基、三神幼稚園14基、あさひ保育園10基、ひかり保育園6基

(2) 事業の実施状況

・H26年8月着工、H27年3月完成・供用開始。
 ・各園保育時間外一般開放。町内各地域(矢吹、中畑、三神)の近隣の住民の利用、特に幼児園児等の年齢の低い子ども達の子どもにも利用されている。
 (3) 人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係の評価年度時点での情報
 ・避難者数：H27年12月現在115人(H24年10月比 26人)
 ・町内人口：H27年10月現在17,766人(H25年4月17,981比 215人)
 ・児童生徒数：H27年5月現在1,441人(H25年5月1,456比 15人)
 ・小学生肥満度：H27年調査10.1%(H26年調査数値比 2.7%(H26年12.8%))
 ・小学生ローレル指数：H25年調査7.8%(H23年調査比+0.9%(H23年6.9%))
 ・小学生「新体力テスト」平均点合計：H27年1,043点(H25年1,043点比0点)
 ・小学生1年生の「新体力テスト」(幼保卒園後の小学1年生の運動能力)：H27年93点(H26年比+4点)
 ・人口及び児童数、体力テストについては減少(低下)に歯止めがかからず目標達成にも至っていないものの、遊具の更新がなされたことにより、町内の各地域の屋外運動機会の確保がなされ、H27年度の人口推計やH26年度児童生徒数等にも改善の傾向がみられてきており、また肥満度については、小学生の直近の値で大きく改善し効果が表れてきて

(4) その他

幼稚園保育園遊具(H27年10月)



事業計画推進による効果・変化(注2)

・屋外運動機会の増加により、子どもたちの肥満度が改善傾向にある。幼稚園・保育園卒園後の小学生1年生の「新体力テスト」結果では、震災前の目標に対しては未達成であるが、H26年度比では改善している。

効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

・町内人口及び児童数の減少が続いている現状の中、町HP等による施設利用の周知や、イベント開催の周知とともに教育機関との連携による積極的な運動機会の促進をして引き続き支援を行う。

(注1) 様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2) 様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。